



明新館通信

「日日新 又日新」 (日日新たに 又日に新たなれ)

平成24年度第17号
弥生の巻(通巻62号)
山形県立上山
明新館高等学校
山形県上市市仙石650番地
TEL 023(672)1700
URL:<http://www.meishinkan-h.ed.jp/>
平成25年3月7日(木) 発行

行事予定

<3月>

- 1日(金) 卒業証書授与式
- 2日(土)
- 3日(日)
- 4日(月) 3/9分代休
- 5日(火)
- 6日(水) 学年末試験①
- 7日(木) 学年末試験②
- 8日(金) 学年末試験③
- 9日(土) 学年末試験④
- 10日(日) 入学者選抜試験
- 11日(月) 3/10分代休
- 12日(火)
- 13日(水)
- 14日(木)
- 15日(金) <生徒登校日>
- 16日(土)
- 17日(日) 判定会議 合格発表
- 18日(月) <生徒登校日>
- 19日(火)
- 20日(水) 春分の日
- 21日(木) 3/17分代休
- 22日(金) 修了式 離任式 他
- 23日(土)
- 24日(日)
- 25日(月)
- 26日(火) 合格者説明会
- 27日(水)
- 28日(木)
- 29日(金)
- 30日(土)
- 31日(日)



平成24年度山形県立上山明新館高等学校第20回卒業証書授与式

決意新たに！306名

会場に響き渡る校歌こそ明新館の自信と誇り!!



3月1日、平成24年度山形県立上山明新館高等学校第20回卒業証書授与式が行われ、306名の卒業生が慣れ親しんだ学び舎を後にしました。

吹奏楽部の演奏と拍手の中、入場した卒業生名は、担任からの呼名に一人一人が大きな声で返事をし、とてもすがすがしい卒業式になりました。

式辞の中で校長は、東日本大震災にも触れ、震災の影響で福島から本校への転校を余儀なくされた3名の卒業生の頑張りをたたえるとともに、この3名を受け入れ、仲間として支

えてくれた卒業生全員にも感謝の言葉が語られました。

また、本校校歌の作詞者である吉野弘氏の「祝婚歌」を引用され、

「無理な緊張には色目を使わず、ゆったりゆたかに・・・」

と、はなむけの言葉を送り、そして「皆さんの進む道は一人ひとり異なり、皆さんのこれからの人生にも同じものは決して二つない。ただ、共通することは上山明新館高等学校で学んだということだ。それをお互い誇りに思い、新たな環境においても、校訓『日日新たに、又日に新たなれ』のもと、大いに活躍することを期待する。」と結ばれました。

最後に、本校校歌が声高らかに斉唱され、会場に響き渡ると、感激のあまり思わず号泣する生徒もおり、明新館の自信と誇りが感じられた、はりつめた緊張の中にも、感動的な卒業式になりました。

お毛筆大作！卒業生に送る言葉

「一場夢」



卒業式当日、3年生の教室前廊下の踊り場に、毛筆で書かれた巨大な書が掲げられていました。

「一場の夢(いちじょうのゆめ)」
作者は本校書道担当教諭で3年3組の担任でもある栗原三宜先生です。

先生は卒業する教え子たちに送るはなむけの言葉として、この大作を書き上げました。

おめでとう！卒業式



表だけでは足りません！卒業式の感動写真をご覧ください。

おめでとう！卒業式 PART2

情報経営科3年
確定申告に挑戦！
ネットで作成
確定申告書こう作る！



2月19日（火）、本校情報経営科3年生が卒業を前に、山形税務署の青山氏と伊東氏を講師に招いて、税金についての学習会である「ネットで作成確定申告書はこう作る！」が行われました。

納税は日本国民の3大義務の一つ。おりしも確定申告の時期に、情報経営科が企画したタイムリーな学習会になりました。



体育科で初期救命訓練を実施

AED使える？

いざ！という時に慌てないために



皆さんAEDってご存知ですか。日本名は自動体外式除細動器と言って、心臓が細かくけいれんし、血液を送れなくなる重い不整脈の患者に電気ショックを与えて救命する装置で、本校には3台設置しています。

本校体育科では、上山消防署の救急救命士の職員の方を講師に招き、1年生全員にAEDの操作方法の講習会を行っています。

生徒は、心臓マッサージや人工呼吸の方法に加え、AEDを使った初期救命に真剣に取り組んでいました。お疲れ様でした……………。

やまがた野菜スイーツ創作レシピコンクール 獲得！グランプリ・準グランプリ

本校農業クラブ「紅花若菜研究グループ」「ほおすき研究グループ」製作
「紅花畑の姫しふおん」「自然薯でふっくらホオズキ米粉マフィン」



山形県村山総合支庁が主催する「やまがた野菜スイーツ創作レシピコンクールアマチュア部門」において、本校農業クラブの「紅花若菜研究グループ」が制作した「紅花畑の姫しふおん」がグランプリ、ほおすき研究グループが制作した「自然薯でふっくらホオズキ米粉マフィン」が準グランプリに輝き

ました。この取り組みは、村山総合支庁が、村山地区の伝統野菜や特産野菜の知名度向上と利活用拡大を目的に実施したもので、今回はプロ・アマ合わせて45作品の応募があり、その中のアマチュア部門の上位入賞を独占した結果でした。

この結果を励みに、さらに次のプロジェクト研究での活躍を期待します。おめでとうございます。

